



国土交通省近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
奈良国道事務所
資料配布

配布日時
平成30年 3月26日
14時00分

件名
国道168号 ^{とつかわ}十津川道路で最後の^{まめいち}豆市トンネルが貫通しました。

概要
■ 豆市トンネル(仮称)は、国道168号^{ごじょうしんぐう}五條新宮道路(奈良県^{ごじょう}五條市～和歌山県^{しんぐう}新宮市)の一部である十津川道路を構成するトンネルで、平成28年12月より掘削を開始し、この度、平成30年3月26日11時に貫通しました。
■ 十津川道路には3つのトンネルが存在し、^{いまだ}今戸トンネル、^{おおつろ}大津呂トンネルを含む区間は、平成23年9月19日に開通しています。
豆市トンネル(仮称)は十津川道路において、最後に貫通したトンネルとなります。
■ 豆市トンネル(仮称)の概要 延長:1,432m 幅員:8.5m
■ なお、奈良国道事務所ホームページで貫通状況の映像がご覧頂けます。
<http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/index.php>

取扱い

配布場所
奈良県政・経済記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所
副所長 小林 正治 (こばやし まさはる)
工務課長 鴻野 宏志 (こうの ひろし)
電話: 0742-33-1391 (代表)

国道168号 十津川道路で最後の豆市トンネルが平成30年3月26日貫通しました。

- 豆市トンネル(仮称)は五條新宮道路(奈良県五條市～和歌山県新宮市)の一部である十津川道路を構成するトンネルで、平成28年12月より掘削を開始し、この度、平成30年3月26日11時に貫通しました。
- 十津川道路には3つのトンネルが存在し、今戸トンネル、大津呂トンネルを含む区間は、平成23年9月19日に開通しています。豆市トンネル(仮称)は最後に貫通したトンネルとなります。
- 豆市トンネル(仮称)は、今後、トンネル内の覆工及び舗装、設備工事等を進めていきます。
- 十津川道路においては、引き続き、橋梁工事や改良工事を推進し、早期開通を目指します。

《豆市トンネルの概要》

延長: 1,432m
 幅員: 8.5m
 施工業者: 鹿島建設(株)

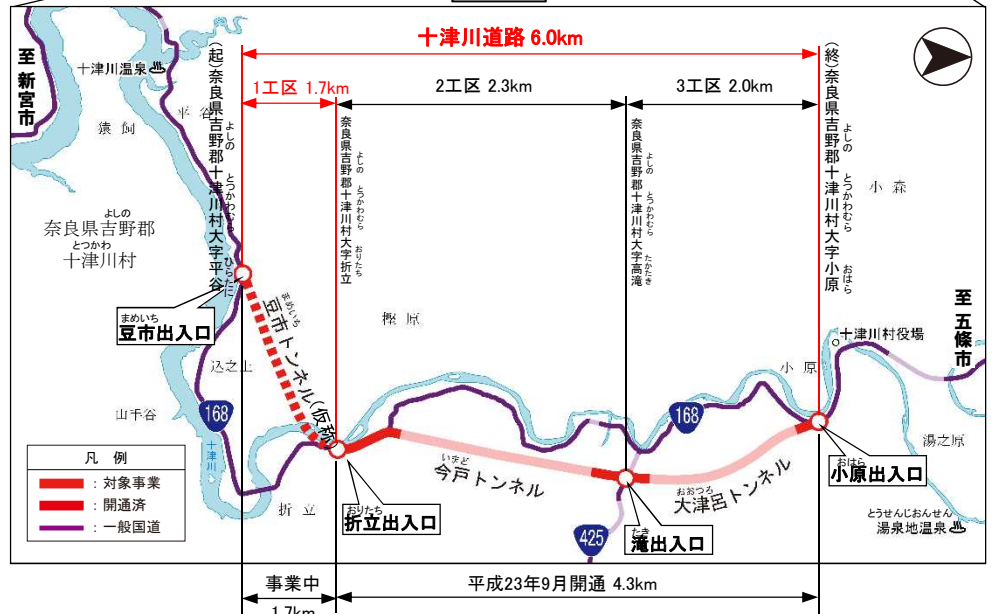
《十津川道路の概要》

区間: 奈良県吉野郡十津川村平谷
 ～十津川村小原
 延長: 6.0km
 (内 4.3km は平成 23 年 9 月に開通)

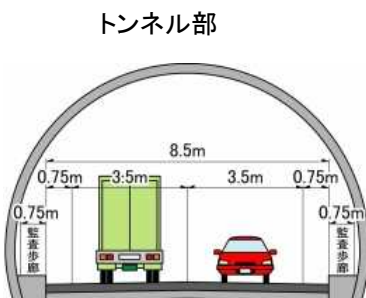
広域図



位置図



標準断面図



豆市トンネル工事貫通状況写真【3月26日11時貫通】

(五條側の最終地点での掘削)

■トンネルの工事状況



トンネルの貫通掘削開始



トンネルが貫通しました。



トンネルの中央部から外が見えます。

■奈良国道事務所ホームページで貫通状況の映像がご覧頂けます。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/index.php>

【参考】(仮称)豆市トンネルの施工ステップ

①発破によるトンネル掘削
掘削面に削岩機(ドリルジャンボ)を使って穴を開け、その穴に火薬を詰めて発破し、岩を砕きます。



【装薬作業状況】

今回貫通

②ズリだし
発破で砕いた岩の塊(ズリ)を重機を使ってトンネルの外に運び出します。



【重機を使用したズリ搬出状況】

③コンクリート吹付け
掘削面の岩肌が崩れてこないよう、コンクリートを吹付けて固めます。



【コンクリート吹付け状況】

④鋼製アーチ支保工設置
アーチ状になった鋼材を取り付けて、再度コンクリートを吹付けます。



【鋼製アーチ支保工設置状況】

⑤ロックボルト設置
周囲の岩に穴を開けてロックボルト(鉄筋)を入れ、岩とトンネルの一体化していきます。



【ロックボルト施工状況】

⑥インバートコンクリート打設
地盤が悪い箇所では、トンネル底面にコンクリートを打設し、トンネルの強度を確保します。



【インバート施工完了】

※インバートコンクリートは部分的な施工

⑦防水シート設置
防水シートを設置し、トンネル内への漏水を防ぎます。



【防水シート設置完了】

⑧覆工コンクリート打設
スライドセントルという型枠を使って、トンネル内側にコンクリートを打設していきます。



【覆工コンクリート完了】